



↑シーサイド温泉のうみ

Q 制度の充実と負担の軽減は

片平 司 議員

A 市民の理解を得ながら検討

市長

Q 合併後も4町別々の介護保険料を統一すべきと思うがどうか。

A 国は、不均一賦課の取り扱いを認めていません。

Q 要介護者の島外病院への介護タクシー利用料金の負担軽減の施策を考えたときではないか。

A 通院負担の軽減対策として、交通機関での通院ができない65歳以上の寝たきり等の人を無料で送迎する。
Q 大柿町民適用の障害年金を全市に適用すべきと考えますがどうか。
A 平成17年度に限り支給額を半額にして、大柿

支所管内を対象に実施する方向。
Q 海水・海藻・温泉水など地元の資源を活用した健康増進施設とは何か。
A シーサイド温泉能美の源泉を利用したケアハウスなどの整備を計画中。
Q 障害のある人が障害のない人と同様に生活

し、ともに生き生きと活動できる社会を目指す「ノー・マライゼーション」の理念に向けたサービス基盤の整備を充実するとは何か。
A 指定居宅事業所である社会福祉協議会の理解を得ながら行う。

Q 同和行政の理念とその推進計画は

山本 一也 議員

A 指導者の育成と推進体制の充実強化を

市長

Q 私は、これまで「人類最大の差別は戦争である」と訴え、反戦、反核、反差別の運動に取り組んできました。

そのことは、市民一人ひとりが、「この街に住んでよかった」と実感できるような、人権を大切に

した街づくりであると考えますが、江田島市の同和行政の理念と、その推進計画は。

そのために必要な指導者の育成と推進体制の充実強化に重点をおき、問題解決に取り組んでいきます。

学習内容については、日常生活の中の不合理・矛盾に気付かされた多くの仲間が連帯し、お互いに理解することができ環境づくりに、力を注いでいく必要性を痛感しています。

そのことは、市民一人ひとりが、「この街に住んでよかった」と実感できるような、人権を大切に

基本的には、関係団体のご協力のもと、各町で長年積み上げてきた推進計画の継続、また、

日常生活中的不合理・矛盾に気付かされた多くの仲間が連帯し、お互いに



↑児童・生徒の人権ポスター作品

Q 長期総合計画の策定はいつか

道口 昭信 議員

A 平成17年度から2か年で段階的に

市長

Q 合併協議会は、新市を建設する基本方針を定め、住民福祉の向上等を図るため「新市建設計画」を策定した。

この計画の具体的な内容は、新市が策定する総合計画に委ねられている。この計画をいつ策定し、総合的な行政運営を図るための基本構想は、いつ議会へ提案するのか。
A なお、各種の計画に条例で議決事件として指定する考えはないか。

新市の総合計画は、平成17・18年度で策定したい。実現性の高い計画を策定するには、三位一体改革の動向等財政状況を精査し、財源の確保が必要である。このため、17年度に基本構想を策定し、議会提案

は、平成18年3月の予定。18年度には具体的な計画を策定する。
各種計画を条例で議決事件として指定する考えはない。



↑新市建設計画

Q NLP施設誘致に反対を!

石下 洋子 議員

A 住民の安全を守る立場から反対する

市長

Q 夜間離着陸訓練は、空母艦載機が出撃前に必ず行う訓練で、戦闘行為に直接つながり、平和と安全を脅かすだけでなく、夜間の激しい騒音は、住民に耐えがたい苦痛を与えます。何としても誘致に反対していただきたい。

A 住民の安全を守る立場から、誘致に反対する。

Q 江田島町で操業している会社の産業廃棄物焼却炉設置に対して、地元住民は、莫大な量の廃棄物焼却による有害物質の排出で、環境汚染の恐れがあると反

対しているが、このことに對して、どのように対処されるか。
A 許認可権のある県に、住民の意向をそのまま伝える。
Q 高齢者・障害者への旅客船運賃助成を、全航

路に広げるべきだと思いが。財政上、広げることが困難。



↑廃棄処理施設反対の立看板